



2024年1月30日

各位

会社名 SMK株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光
(コード番号 6798 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年10月25日に公表いたしました2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。併せて、2024年3月期第3四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、営業外費用（為替差損）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 50,000	百万円 100	百万円 1,100	百万円 800	円 銭 122.30
今回修正予想（B）	45,900	△1,100	△200	△400	△61.34
増減額（B－A）	△4,100	△1,200	△1,300	△1,200	
増減率（％）	△8.2	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	54,842	1,128	2,503	1,334	209.12

2. 修正の理由

2024年3月期通期の連結業績につきましては、売上高、営業利益は、家電市場及び車載市場における主要得意先の在庫調整が想定以上に継続していることに加え、情報通信市場における主要得意先の新製品立ち上げの遅れが見込まれることから、前回公表した業績予想を下方修正いたします。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の減少により前回公表予想を下方修正いたします。

なお、業績予想の前提となる第4四半期以降の為替レートは、1米ドル140円を想定しております。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）において為替差益9億7千6百万円を計上していましたが、為替相場の円高進行により、2024年3月期第3四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、7億5千9百万円の為替差損を計上しました。この結果、2024年3月期第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）において、為替差益2億1千7百万円を営業外収益に計上しております。これは主として、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価に伴い発生したものであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであって、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があることをご承知おきください。

以 上